

看護学科				1年	
科目名：看護技術論Ⅱ				担当教員氏名：高田 亮子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			看護は、問題解決過程をもとに的確な援助を組み立てているものです。看護現場は複合的な問題をはらんでいるため、クリティカルシンキングを駆使し状況に合わせた判断力が求められる。現実の医療現場に即した事例をもとに思考をつみあげられるような企画としている。		
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード	
看護実践を展開するための方法として基盤となる問題解決の思考プロセスに基づいた看護の展開プロセスについて学習する。				ヘルスアセスメント 看護過程・看護診断 看護理論	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力	対象のヘルスニーズを判断するために必要な基礎的知識や技術を習得できる。看護の対象である人々の安全、安楽、自立、個性を支えるために正確な知識、技術の習得の必要性がわかる。				
C 論理的思考力	看護過程の展開の技術を習得できる。				
D 問題解決力	科学的・分析的態度を身につけることができる。				
E 自己管理能力	演習やグループワークを通して、自己の役割を理解し、リーダーシップおよびメンバーシップのあり方を形成する。				
F チームワーク・リーダーシップ	人間関係を成立・発展させる技術として、コミュニケーション技術の実践への活用方法が理解できる。				
成績評価の基準と方法：以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： 50 %	レポート： 40 %	発表： %	実技試験： %	その他： 10 %	
特記事項：「レポート：40%」については、提出状況や内容についてを評価する。 「その他：20%」については、授業(演習)での参加姿勢(出席状況)や取り組み姿勢を評価する。					
アクティブラーニング要素： 課題解決学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク					
課題学習、グループワークを行う。テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：別に定めた日時に、本科目における学習内容の確認とまとめを実施する。適宜、レポートによる課題を提示する。テーマや提出日は講義内に伝える。5回小テストを実施する。(講義前) 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：提出された課題については修正部分を指摘し、修正し再提出されたものを評価対象					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容		学習に必要な時間(分)
①看護過程とは 医師の診断プロセスと看護診断 情報収集と解釈・分析と診断治療			DVD視聴 DVDの推論プロセスを言語化	テキスト1の看護過程を要約するテキスト P206～225	【予習】60分 【復習】60分
②看護診断とは 看護診断とは何か 基礎看護学実習Ⅰの受持患者事例をもとに全体像の整理				テキスト1の看護診断を要約するP239～244	【予習】60分 【復習】60分
③看護過程:アセスメント アセスメントの構成要素 情報収集(観察・コミュニケーション)・解釈・分析 アセスメントの枠組みの考え方				テキスト1のアセスメントを要約するP226～239	【予習】60分 【復習】60分
④看護過程:基礎看護学実習Ⅰの事例の枠組みごとの分類と仕分け				テキスト2のアセスメント項目を確認P90～102	【予習】60分 【復習】60分
⑤看護過程:1.看護診断のタイプ2.看護診断の表記(因子、徴候と症状、診断ラベル) 3.看護診断の記述方法				テキスト1の看護診断を要約するP239～244	【予習】60分 【復習】60分
⑥看護過程:基礎看護学実習Ⅰの事例の看護診断の決定			課題の整理		【予習】60分 【復習】60分
⑦看護過程:1目標の概念 2.看護診断に関する成果 3.看護診断と成果の関係 4.成果達成までの時間設定 5.看護治療の選定				テキスト1の看護計画を要約するP247～252	【予習】60分 【復習】60分
⑧看護過程:基礎看護学実習Ⅰの事例の計画立案			課題の整理		【予習】60分 【復習】60分
⑨看護過程:1実施の構成要素 2.評価の視点(成果の達成度、達成度の原因、再アセスメント)				テキスト1の実施・評価・記録を要約するP252～262	【予習】60分 【復習】60分
⑩看護過程:基礎看護学実習Ⅰの事例の実施・評価			課題の整理		【予習】60分 【復習】60分
⑪看護過程:紙上患者の事例展開(グループワークの進め方)				今までの振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑫看護過程:パターンごとの個人ワークをもとにした検討				担当パターンの情報の仕分けと解釈・分析	【予習】60分 【復習】60分
⑬看護過程:全体関連図の作成、看護診断の抽出				全体関連図の見直しと診断名の抽出 発表用資料(PP)の作成	【予習】60分 【復習】60分
⑭看護過程:全体発表会(ディベート形式)				発表原稿の作成	【予習】60分 【復習】60分
⑮看護技術論Ⅱにおける知識・技術の確認とまとめ					【予習】60分 【復習】60分
使用テキスト:1. 茂野香おる:系統看護学講座:専門分野Ⅰ基礎看護学(2) 基礎看護技術Ⅰ、医学書院 ISBN978-4-260-02760-1C3347 2. 江川隆子 編:コードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 ヌーベルヒロカワ ISBN978-4-86174-033-6 3.リンダJ.カルペニート著:看護診断ハンドブック第11版 医学書院 ISBN978-4-260-0341-7			その他参考文献など: 古橋洋子 編:患者さんの情報収集ガイドブック、メチカルフレンド社 ロザリンダ・アルファロ・ルフィーヴァ(著)、本郷 久美子(翻訳):基本から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):看護の中核となる技術です。専門職たる看護師に最も身につけなければならないものといえます。各学修内容をまとめる科目となり、今までの積み重ねを振り返るよい機会ともなります。常に主体的能動的な学修姿勢をもって、貪欲に学んでください。					